

令和5年度 自治会活動表彰

自治会活動事例集



～地域まちづくりノート～

地域への“想い”を綴りました。



みんなでまちづくり課
宇都宮市自治会連合会

はじめに

宇都宮市では、市民協働によるまちづくりを推進しており、特に地域コミュニティの基盤となる自治会が主体的に取り組む活動に対して支援しています。

この一環といたしまして、令和5年度に「自治会活動表彰」を受賞した魅力ある自治会活動を事例集としてまとめ、活発に取り組まれている様子を広く市民の皆さんにお知らせするため、この冊子を作成しました。

目次

【令和5年度自治会活動表彰（13自治会）】

NO	地区名	自治会名	頁
1	河内	長峰	1ページ
2	河内	和久	2ページ
3	姿川	鶴田メルパルク	4ページ
4	宝木	宝木町2の3	5ページ
5	豊郷	横山町下	6ページ
6	豊郷	ニュー富士見ローズタウン	7ページ
7	豊郷	長岡町	8ページ
8	東	東埜田六区	9ページ
9	瑞穂野	みずほの緑の郷	10ページ
10	緑が丘	東原町南	11ページ
11	緑が丘	江曾島一丁目	13ページ
12	峰	向原	14ページ
13	陽光	江曾島4丁目	15ページ

河内地区 長峰自治会

●加入世帯数：28世帯

●加入率：100%

活動内容

長峰自治会は、世帯数28軒の小規模の自治会であり、地域住民が互いに助け合い、あいさつからコミュニケーションが取れる、住みよい自治会です。

<例大祭>

11月中旬に行われる神社の例大祭では、子供会が自治会内を神輿で歩きます。

<親睦活動>

長峰クリーンエコ倶楽部と子供会は、自治会内を流れる御用川での生き物調査や、8月の夏休みに合わせて鮎のつかみ取りを行っています。

つかみ取りの後、鮎の塩焼きを自治会全戸に配布しています。

<環境美化>

神社、御用川の草刈りを年3回（5月，7月，10月）行っています。

活動への参加率は非常に高く、常時9割以上の自治会員が協力して、作業をしています。



加入率を維持する秘訣

本自治会内に住む人々は、人とのつながり、感謝の気持ちが強く、日頃から親睦を図り、近所で互いに助け合い、住民同士の絆を深めているため、自治会内の団結する力が強いです。

どんな活動においても、みなさん協力的に活動します。

河内地区 和久（わぐ）自治会

●加入世帯数：107世帯

●加入率：93%

活動内容

<概要>

和久自治会は元々60戸程度の農家集落でしたが、ここ20～30年程前から住宅開発が進み、居住者が増え始めました。農家戸数の減少などもありましたが、現在は109戸の会員で運営しています。

本自治会は、農家集落と新興住宅で成り立っており、現在は、新型コロナウイルス感染症の影響により活動が停滞している状態です。

<今年度の活動>

(1) 自治会が、子供会の活動をサポートする形で、自治会公民館の花壇の整備、夏休み絵付け体験活動、ラジオ体操などを計画し、新型コロナウイルス感染症の対策を執りながら実施してまいりました。

コロナ禍以前に実施していた「どんど焼き」も同様の対策を執りながら実施しようと計画中です。

(2) 体育協会主催のイベント参加、とりわけ「かわちハートフル体育祭」の参加により、今年度自治会新加入者の「自治会デビュー」を計画中です。

(3) 和久自治会の歴史上、初めての取り組みとして「和久子供会ニュース」の発刊に結び着くことができ、当自治会として大きな成果と言えます。

(4) 河内地区市民センター北側交差点が改修され、昨年度から使用開始となりましたが、交通事故が多発しており、交通安全母の会などが中心となり、子供達が安全に通学できるように安全確認を実施しています。更に、8月4日に白沢小学校様のご協力を得て、現地合同確認を実施し、自治会からは5名が参加させていただきました。

(5) ここ数年の実績はありませんが、「人と人との交流の場」を設定し、相互の情報交換を行い、自治会活性化のスタート年度としようとして模索するところです。

加入率を維持する秘訣

特別な秘訣が有る訳ではありませんが、「戸建て住宅」が多いことから、建設中に建て主との面会や、近隣住民からの声掛けにより自治会加入を促しています。

また、近隣住民から建て主の訪問状況などの情報収集を行い、直接お話が出来るように連携しています。

令和5年度は3世帯の加入実績がありました。

和久子ども会 Newspaper



夏休みイベント開催

8月20日に和久公民館で、子ども会イベントを開催しました。毎年行っていた子ども会の支部旅行も感染症流行の為、3年間中止していたので久しぶりの夏の活動です。

少しでも子どもたちの思い出になる事をしたいと考え自治会長の釜井さんと子ども会役員で企画。感染症予防も考え、2グループに分かれて時間差で、お菓子釣りやくじ引き等を楽しみました。手探りな部分も多々ありましたが、子どもたちの楽しそうな顔を見ることができました。

！河内体育館北交差点 注意！



事故が多発しています。再度子どもたちに、気をつけて横断するようお話してください。又、これから日が暮れるのが早くなり下校時間も視界が悪くなります。大人も車で通行する際、気をつけてくださいね。

今年度後半行事予定

- ・秋休み後の交通安全指導
- ・2月に歓送迎会

今年度は子ども会の活動を感染症予防をしながら少しずつ再開しました。これからも臨機応変に対応していければと思います。

[和久子ども会 吉沢・須藤]

ラジオ体操

3年ぶりの開催でした。

10組 土屋さんのお庭をお借りして、子どもたちと保護者でラジオ体操をしました。朝6時半とはいえ、暑い中みんな元気に身体を動かし、良い朝のスタートをきりました。



姿川地区 鶴田メルパルク自治会

●加入世帯数：233世帯

●加入率：92.1%

活動内容

鶴田メルパルク自治会は平成9年に創設され、設立当初、42世帯で構成されてきましたが、現在は233世帯まで増加しております。

会員や役員、全20班の班長を中心に会員相互の親睦と連携を深め、豊かな地域社会づくりを目指しております。

(1) 自治会内には4つの公園があり、毎年、草刈りを年3回実施しており、毎回約100名の自治会員が参加し、子どもたちが安全に公園で遊べるよう、公園の環境整備に取り組んでいます。



(2) 地域防犯のために、自治会内に防犯灯及び防犯カメラを設置しております。防犯灯は全てLED化しており、夜間でも安心して町内を歩く事ができます。

(3) 自治会員の交流・健康を目的に、地域スポーツ大会へ積極的に参加しています。今年度はソフトボール大

会において、ブロック優勝をすることができました。



加入率を維持する秘訣

転入されてきた方には、班長が声掛けし自治会の説明を行っております。

近くに小中学校があるため、育成会とも協力して加入促進を図っております。

新築個別住宅は加入率がほぼ100%であるのに対して、高齢者の方の加入率はやや低下しております。

高齢者の方は役員や班長にならないように配慮することで、個人の負担を減らし加入率の維持を図っております。

宝木地区 宝木町2の3自治会

●加入世帯数：233世帯

●加入率：92%

活動内容

地域住民の皆様の「物心両面の安全安心」実現を目指し、「防犯カメラ、防犯灯の整備」「スクールガード」「青色防犯パトロール」「環境点検」等を行い、楽しく活動しております。

また、「これからの自治会」に必要な「世代間交流の充実」のために、「育成会」「おやじ会」「ミドルクラブ」「シニアクラブ」を自治会内に設置し、3世代協働でイベントを行うなど、交流の推進を行っております。

常に、楽しみながらをモットーに、皆様のアイデアを元に、「物心両面の安全安心」実現の為、共に一歩ずつ進み続けております。



加入率を維持する秘訣

自治会サービスの充実を常に検討し実現させております。

3世代交流の充実を常に心がけ、イベントを多数実施しております。

役員会では常に問題意識を持ちながら、楽しく建設的な意見を交わり、コンセンサスを取り、活動しております。



豊郷地区 横山町下自治会

●加入世帯数：34世帯

●加入率：100%

活動内容

横山町下自治会は、世帯数の少ない地域ですが、それ故に町内全員の顔や自宅を把握し、互いに助け合う意識が強く、加入率100%の自治会です。

町内に小学校があり、農業体験を通じて、児童たちと交流を図るほか、会員は、農作業をしながら登下校の安全を見守っています。

<いきがいサークル>

平成15年に65歳以上の人達で構成する「いきがいサークル」を発足しました。

主な活動は、毎月2回公民館に集い、「そば打ち」「芋煮会」「紅葉狩り」「誕生日会」等で交流を図りながら、参加者同士で互いの体調を確認しております。

また、公民館周辺の草刈りや花壇の手入れを行うなど、環境美化にも取り組んでいます。

<御霊神社祭典>

毎年10月に農作物の五穀豊穰を感謝し、町内を挙げて御霊神社祭典を行っています。氏子の代表がしめ縄を作り、宮司を招き、町内の人達が神前に集い、伝統行事を継承しています。

会員が一同に会した集まりは、コミュニケーションを高め、町内の連携に繋がっています。

加入率を維持する秘訣

日頃から、住民同士でコミュニケーションを図り、助け合いの意識を持って連携を大切にしています。

住民同士の結束が強く、高齢者を大事にするほか、毎月2回、定期的に「そば打ち」「芋煮会」「紅葉狩り」「誕生日会」等の活動を行いながら、加入率100%を保っています。

豊郷地区 ニュー富士見ローズタウン自治会

●加入世帯数：323世帯

●加入率：95.6%

活動内容

ニュー富士見ローズタウン自治会は設立後30年弱が経ち、住民の高齢化も進んでいますが、現在は、執行部役員や班長、老人会、子ども会、福祉協力員、環境整備員の方々と協力しながら、住民間の交流促進と安全で安心なまちを目指して活動しています。

(1) 公園や団地内道路周辺の草刈り、清掃活動を自主的かつ定期的を実施し、環境美化に努めています。

(2) ごみステーションの補修やカラス除け対策を定期的を実施しています。

(3) 凹凸のある道路の補修や街路樹と電線との干渉対応を市道路管理課と連携しながら推進しています。

(4) 8月に隣接する自治会の団地夏祭りに協賛・協力し、子ども達の笑顔を創出することができました。

(5) 9月に団地内公民館にてアットホームな敬老祝賀会を開催し、お年寄りを含めた各世代の笑顔を創出することができました。

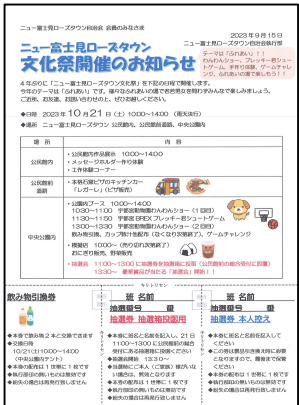
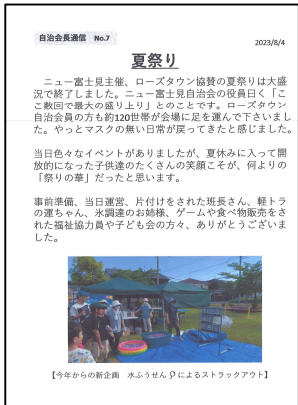
(6) 10月に「ふれあい」をテーマに住民、協賛団体、動物、ゆるキャラ等とふれあえる文化祭を開催予定です。

加入率を維持する秘訣

(1) 戸建て世帯が多いため、元々、加入率は高く、諸先輩方の長年の活動により自治会の存在が認知されています。

(2) 新規入居者に対しては、自治会規約を見せて、活動内容や会費について説明し、理解を得ております。

(3) 自治会活動の考え方やイベント実施後の結果を分かりやすくまとめた「自治会長通信」を回覧することにより、自治会活動に親しみを感じて頂いております。



豊郷地区 長岡町自治会

●加入世帯数：154世帯

●加入率：96.9%

活動内容

長岡町自治会は、毎月1回高齢者を招待した歌や簡単な体操などを実施し、高齢者に喜んでもらっています。

また、地域包括支援センターや、民生委員、社会福祉協力員などの協力を得て、独居老人や災害時要援護者の情報を共有した見守り会を行っており、令和5年度は2回開催しました。

なお、当自治会には、市の文化財である「長岡百穴」がありますので、百穴愛護会のメンバー8名が月2回定期的に周辺の掃除活動を行っています。

活動団体等の育成にも力を入れており、子ども会に補助金を出すなどの支援を行っています。

現在は、新型コロナウイルス感染症の影響により、活動を休止している状態ですが、コロナ禍以前には、秋に「長岡町まつり」を開催し、自治会内の川で釣り大会を行い、釣った魚を焼いて美味しく頂いていました。

また、豊郷地区の体育祭事業等に参加し、地区内の親睦に努めています。

このような活動に取り組んでいる結果、当自治会は自治会加入率が96.9%と非常に高くなっています。

加入率を維持する秘訣

地域的に居住年数の長い農家や戸建て住居所有者が多く、アパートなど賃貸住宅があまりなく、転入・転出が多くないことがその要因とされます。

東地区 東塙田六区

●加入世帯数：203世帯

●加入率：90.2%

活動内容

東塙田六区自治会は、自治会役員と自治会内組織である青年会・子供会・老人会が連携をとって、お祭りへの参画、健康維持活動、町内美化活動を進め、地域内の交流や美しい町づくりを推進しています。

＜お祭り（天王祭、宮まつり）への参画＞

自治会、青年会、子供会の役員が打ち合わせを重ね、当自治会が昭和33年より所有する大人神輿、子供神輿、太鼓を使って、長年に渡り参加を続けており、100人近いメンバーの参加によって、地域内の交流と子供の育成を図っています。

【お祭り(宮まつり)】



＜健康維持活動＞

老人会活動として、健康維持のために、歩け歩け運動を行っており、田川周辺を約1時間かけて歩いています。

前回は東地区内の他の老人会も加

わって大人数で行いました。

＜町内の美化活動＞

自治会の役員とメンバー、青年会、子供会、老人会が一緒になって、田川周辺と千波公園の清掃を年4回行っています。

また、千波公園内に花壇を作り、花をいっぱいにする活動も行っています。

【町内の美化活動(千波公園清掃)】



加入率を維持する秘訣

現在加入している方に対しては、東地区のイベント、当自治会独自のイベント（自治会主催、青年会主催、子供会主催、老人会主催）に参加してもらい、交流することによって退会防止を図っています。また、新しく引っ越してきた方には、各班長がお声掛けしてコミュニケーションをとることで加入してもらっています。さらに、新しく建設されたアパートやマンションでは、自治会の会長と役員が大家さんと話し合う機会を設けて、自治会活動に理解をいただくようにしています。

瑞穂野地区 みずほの緑の郷自治会

●加入世帯数：568世帯

●加入率：99.6%

活動内容

<概要>

みずほの緑の郷自治会は、2010年に発足し、現在、568世帯で構成されており、自治会役員22名で自治会を運営しております。

主な内容としては、回覧による情報提供、住民同士の親睦活動、防火防犯活動、地域課題の早期解決です。

<活動内容について>

(1) 瑞穂台夏まつり

地域14団体が中心となり、4年ぶりに「瑞穂台夏まつり」を開催し、前回の開催を上回る来場者でした。

当自治会も、焼きトウモロコシの模擬店を出店し、参加者から大変好評をいただきました。

(2) バレー大会

同じく4年ぶりに開催された、「春季ナイター簡易バレーボール大会」では優勝する事ができました。

今後自治会がバックアップしていきたいと考えております。

(3) 秋の交通安全立哨

同じく4年ぶりの開催で、新宿交差点での立哨を行い、瑞穂野地区の交通安全に努めています。

今後積極的に参加していきたいと考えております。

(4) 防犯活動

自治会内に18台の防犯カメラを設置し、日頃からの住民の防犯活動と、警察署からの情報提供にも協力し、瑞穂野地区の防犯に努めています。

本年度栃木県と栃木県警本部から、功労ボランティア表彰をいただく事も出来ました。

(5) みずほの緑の郷秋まつり

同じく4年ぶりの開催で、地域の方々が楽しみにしているイベントです。

現在、役員22名で開催に向け準備中ですが、住民の方々に満足いただけるものにしたいと考えております。

加入率を維持する秘訣

新しく入居された方には、規則や具体的な活動内容の説明資料を準備し、対応していることで、賛同いただいているものと考えております。

緑が丘地区 東原町南自治会

●加入世帯数：330世帯

●加入率：89.2%

活動内容

東原町南自治会は、木々に囲まれた広い東原児童公園（通称ぶた公園）を中心に約370世帯が暮らしている住み良い住宅地です。

また、約4割の市営住宅の方々とのコラボレーションがあることも特徴の1つです。

地域内の交流と安全・安心なまちづくりを目指し、多くのイベントを企画・実行に取り組んでいます。

特に、少子・超高齢化の現状を見極め、役員一同、自治会運営等に苦戦しておりますが、知恵を出し合いながら取り組んでおります。

<春（4月・秋（11月）ふれあい祭り）>

春は東原児童公園の桜を見るほか、秋は色づいた木々で四季を堪能しております。焼きそばやフランクフルト、団子などを販売しています。

<夏祭り（7月）>

子供神輿、山車での町内回りと花火のイベントには、200人以上が公園に集まり、大きな盛り上がりを見せています。

<夏休み中（8月）の子ども向け工作（小学生低学年）>

高齢者の経験・知識を子どもたちに展開し、「ふれあい」と「ものづくり」で楽しんでいます。

<どんど焼き（1月）>

無病息災を願って、お焚き上げと餅つきなどの販売で、年始めの地域交流を図っています（参加者は150人以上）。



<環境美化活動>

東原児童公園を憩いの場に変身させるために、花壇整備に取り組んでいます。この取組に対し、第40回栃木県「みどりと公園の愛護」功労者表彰を、栃木県知事から頂きました。



<リヤカーによる資源物回収（毎月第3日曜日）>

一人暮らしの方への声掛けとごみ出し支援などを兼ねながら、リヤカー2台で町内全域を回り、資源物回収を月1回実施しています。

<サロン（毎月第3、4金曜日）>

地域包括支援センター、保健所、シルバー大学OBなどの支援を受けながら、東原みなみサロンを実施しています。また、輪投げを通じたコミュニケーションの場づくりとしてのサロン友の輪を展開中です。毎回25人程度が参加しています。

<見守り会議（偶数月の第1金曜日）>

地域包括支援センター、民生委員、社会福祉協力員、自治会役員間での要支援者/要介護者などの情報交換を行っています。

<自治会対抗各種大会への参加>

体育祭、バトミントン、ソフトボール、卓球大会などへ積極的に参加しています。

<自治会だよりの配布>

自治会が取り組んでいるイベントなどの活動報告を通して、自治会の必要性をアピールしています。

<けやき会（通称：老人会）旅行>

年2回（6月、11月、参加者約25人）のバス旅行で、体力低下の確認とストレス解消を図っています。

<役員定例会および夜回り（毎月第3金曜日）>

定例会では、直近の行事計画、外部会議の報告、会計報告などを行い、活動の見える化を図っています。また、拍子木を叩きながら町内全域の夜回りを行っています。

加入率を維持する秘訣

自治会のイベントには多くの地域住民が集まるため、色々な人と知り合い、気軽に声を掛けられるようになります。こうした取組が災害対策、防犯・防災対策活動につながり、万が一の場合には、自治会会員同士でスムーズに協力し、助け合う関係が築けるため、自治会活動を理解してもらうことが重要と考えています。

また、以下のような取り組みも有効ではないかと考え実践しています。

- ・ イベント、資源物回収および防犯パトロールなどを通しての声掛け運動を実践しています。
- ・ 自治会役員は、未加入者の不安解消を図るため、町内の通りすがりの人にもこちらから挨拶をしています。
- ・ 事業・活動内容の回覧およびイベントポスターの掲示などで見える化を行っています。
- ・ これまでの前例・慣例主義から脱却した地域住民と交流の持てるイベントの企画・実行を目指しています。
- ・ 定期的に未加入者とのコミュニケーションを実践しています（苦戦していますが・・・）。



緑が丘地区 江曾島一丁目

●加入世帯数：185世帯

●加入率：44%

活動内容

当自治会では、子供会、老人会、いきいきサロンなどの各部会が中心となり、レクリエーション、清掃活動、防犯パトロールなど様々な行事を行っているほか、令和4年度から、自治会運営の透明化と情報発信の改善に取り組んでいます。

<自治会規則の見直し>

昭和54年以来大きな見直しのなかった自治会規則を、一年間の準備を経て全面改版しました。

主な変更内容は、自治会の目的に、「共助と福祉のまちづくり」を明記し、死亡弔慰しかなかった慶弔に米寿祝いを新設するとともに、会員児童の小学校入学・卒業時のお祝いを設けたほか、副会長を若手男女、壮年男女の4名体制とし、また、金銭支出の基準を明確にしました。

<情報発信の改善>


不定期だった回覧を週一回に定期化しました。表紙を設け、回覧物の要点を記して高齢者にも判りやすいよう工夫し、また自治会活動をトピックスとして記すようにしています。自治会活動の見える化が大切であり、デジタル化は苦手という高齢者が多いことから、紙ベースの情報発信はまだ重要と考えています。

加入率を維持する秘訣

当自治会区域は全世帯の4割超が小規模集合住宅に住んでいます。また最近では高齢化を理由に退会する世帯も目立つようになりました。

このような環境のもと、自治会の加入率を高めるためには、自治会活動の見える化、運営の透明化、様々な世代の意見を会の運営に取り入れることが重要と考えています。

今後は、更に様々な世代の世帯に対して自治会の必要性を高めていく施策を検討し、実行していきます。

江曾島1丁目自治会 会員各位	今週の回覧(8月27日) 令和5年8月26日 江曾島1丁目自治会長 宮内 昌宏(17班)
今週の回覧物は ①8・9月の行 8月30日か ②生活習慣病予 健康診断で血 に生活指導が	江曾島1丁目自治会 会員各位
【その他】 特殊詐欺未遂が 8月24日の ロート春日町 ギフトカードを て、未然に防い また、ロート 号が表示された 70代男性が力 然に防いだとの 特殊詐欺は身 家族や警察に相	今週の回覧(9月3日) 令和5年9月1日 江曾島1丁目自治会長 宮内 昌宏(17班)
野良猫問題の経 7月に回覧し 「保護団体、 置を行い、餌・ りました。生ま これは7月に 野良猫がこれ以 時間は要します このように、 認識してくださ 重ねてお願いい	今回の回覧物は以下の5件です。 ①第46回緑が丘地区交通安全推進の集い(緑が丘小学校体育館で開催されます) 9月24日(日曜)に、緑が丘小学校体育館で開催されます。 ②宇都宮一日合同行政相談所(総務省栃本行政監視行政相談センター) 10月11日(水曜)に、市総合コミュニティセンターで開催されます。 行政手続きや法律に関する相談を受け付けます。事前予約が必要です。 ③救急車が必要なのはどんなとき?(宇都宮市消防局) 救急車の利用方法や相談窓口についてのお知らせです。 ④放火されない環境をつくりましょう!(宇都宮市消防局) 宇都宮市の火災原因第一位は放火です。放火防止対策のお知らせです。 ⑤点検していますか?住宅用火災報知器(宇都宮市消防局) 住宅用火災報知器は設置から10年が点検時期です。点検や管理方法について解説しています。
	【その他】 臨南出張所所長の講話が開催されます 9月28日(木曜)に、臨南出張所所長による講話が行われます。どなたでも参加できます。奮ってご参加ください。 日時:9月28日(木曜日)、午前10時半~11時半 場所:臨南出張所2階、会議室 主催:江曾島一丁目いきいきサロン 子供と一緒にポッチャを楽しみました(8月10日)
	 <p>夏休みのいちにち、子供と一緒にポッチャを楽しみました。(いきいきサロン)</p>
	以上

峰地区 向原

●加入世帯数：425世帯

●加入率：77.3%

活動内容

向原自治会は、毎年「夏祭り・敬老の祝い・自治会祭り」を毎年実施しています。

<夏祭り>

今年は「夏祭り」を「LRT開通祝い」に変えて実施しました。

7月に集会所において、子ども達が大きい旗に色を塗ったり、絵を描いたりして、開業日に掲げる4枚の横断幕を作成しました。

8月26日のLRT開通当日には、沿線で応援をし、子供会からは88名が参加し、近隣の大人を含め、盛大なイベントとなりました。



<敬老の祝い>

対象会員に御祝い金と記念品を贈呈し、長寿を御祝いしております。

<自治会祭り>

役員を中心に、班長・子ども会・地元企業の協力のもと、餅・焼きそばの販売やゲーム、抽選会を行い、地域総参加の交流となっております。

今後、地元企業の「LPガス会館」から寄贈して頂きました「炊き出しセット」を活用したイベントを実施予定です。

これらの活動を中心に、様々な世代同士で繋がりを深め、防災活動においても市と連携し取り組んでいきたいと思っております。

加入率を維持する秘訣

戸建て住宅の建築の際、現場に出向き、建築業者の担当者に自治会加入の協力をお願いしております。

引っ越してきた世帯があった場合は、会長をはじめとして、役員等がその世帯に出向き、加入促進チラシの手渡しや活動内容などを説明して勧誘を行っております。

高齢のため、班長が出来ないなどの理由で退会希望の世帯がありますが、班の話し合いで別の世帯が班長を行うなど、班で協力し合っていることは退会防止に繋がっていると思っております。

陽光地区 江曾島4丁目

●加入世帯数：218世帯

●加入率：70.1%

活動内容

江曾島4丁目自治会は創設49年になり、来年は50周年を迎えます。

現在の自治会員数は218世帯（内アパート等18世帯）で、11名の自治会役員を中心に活動を行っており、地区主催のイベント（夏・冬まつり、体育祭・球技大会等）のほか、独自の活動として防犯防災関連（避難訓練・防犯防火パトロール）、美化活動、BBQやボーリング大会等を実施して、会員の親交を図っております。活動は回覧「自治会員の皆さんへ」にて報告しています。尚50周年に向けたイベントを検討中です。

<防犯防災活動>

防犯月間の9月に合わせ避難訓練を実施しております。今年は4年ぶりに第2回目を実施しました。目的は会員の防災意識高揚と非常時の速やかな行動です。実施後の参加者の感想は「今後も定期的に実施してほしい」との意見が多くありました。

更に防犯防火パトロールは年に2回実施しております。1回目（6月）は防災で実施、2回目（10月）は防犯を行います。昨年からは仮装した子供たちが特殊詐欺被害防止を合言葉に町内を巡回しました。途中、数軒でお菓子をもらい、終了時には袋一杯で

大喜びでした。

町内のみなさん、特に高齢者の方とのふれあいの場となっています。



<町内美化運動>

令和元年度から町内美化活動として、町内の通学路や河川の除草作業に加え、前年10月から月1回町内のゴミ拾いを始めました。1年以上継続したことで、当初は空缶や吸殻、ペットボトルが散乱していましたが、徐々に少なくなりました。

現在は10名ほどの皆さんが参加をしています。毎月第2土曜日の7時から行っています。



加入率を維持する秘訣

令和に入り、当地域では一気に30の戸建てが増加し、三役が中心となり、自治会加入を呼びかけました。2人組で巡回し、27軒の皆さんに加入いただき、長年の目的である200世帯を達成できました。

また、この間に3棟のアパートが建ち、管理業者との交渉で全戸の加入を達成した一方で、高齢化により脱会する方も増加したことについては、今後の課題として検討していきます。

更に、前年度より自治会の電子化を進めており、今年度からは、業務の省力化と印刷物削減に向け、班長会議等定期会議についてはプロジェクターを使用しています。併せて、今後は回覧物の電子化をすべく検討しております。まだ高齢者も多く段階的にスタートさせ、来年度中には可能な班から開始していきます。

新規自治会員獲得への対策

2023/1/10

江曾島4丁目自治会
山口和昭

2021年度末	194件
新規加入	11件
退会	3件
2022年度末予測	202件

自治会員獲得にあたり、直近の会員の推移を調べました。加入はここ数年江曾島4丁目も新規住宅が3年で31戸増加した結果27戸（未加入4）の方が加入をしました。一方退会も12件発生しております。退会理由は下表の通りです。最も多いのが高齢化によるものでした。高齢になり①自治会活動やイベントに参加できない②班長ができないでした。以上の結果加入促進も重要だが高齢者の退会を防止することも重要であることがはっきりしました。

従って今年は高齢者の退会を防止することを重視し、目標を期末会員を200戸超え達成としました。その為に福祉部の活動を強化し、見守り、健康維持へのサポートやパンの配布等を実施することとしました。しながらコロナの第7・8波で思うような活動ができず3戸の退会が発生しました。結果として202戸と目標は達成したものの十分ではなく、来年度(2023年度)も引き続き同じ目標を掲げます。

新規の加入の活動は1戸1戸訪問し、パンフ、地域の地図、会則を持参し説明し回ることで、退会防止は高齢者の会費見直し等です。会費の見直しは十分に検討した上で決裁をして参ります。皆さまには①班内での新築の情報②未加入者への声かけ等の加入促進へのフォローをお願いします。

以上

自治会員の推移

単位：人

	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
	実績	実績	実績	実績	予測
4月1日現在	178	186	188	189	194
新規加入	9	7	6	10	11
退会	2	5	5	5	3
3月31日現在	186	188	189	194	202
退会理由					
高齢による	2	2	3	3	2
役員が嫌		1			
メリットが無い		1	1	1	
会費が高い					
転居等			1	1	1

住めば
愉快だ
宇都宮

UTSUNOMIYA